


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年11月17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	4番	児玉洋一 
件名	1. 丹沢湖周辺エリアの観光再生を 2. 三保地域における子育て支援の取り組みは			
要 旨				
1. 丹沢湖周辺エリアの観光再生を 「水源を生かした観光再生エリア」に位置する中川温泉、丹沢湖周辺エリアは、観光拠点として早急な再生が必要だということは、過去の質問やこれまでの議論の中でも多く取り上げられてきました。そのような中、本年7月に旧あしがら荘に民間事業者の進出、また来年開校に向けて準備を進めている通信制高等学校の進出による周辺観光施設の利用範囲の拡大など、丹沢湖周辺エリアにおいて明るい兆しも見えてきました。 一方で、同じエリアに位置する玄倉地区では、県が撤退を決めたビジターセンターや休止状態が続く森林館や葉草園など、既存観光施設の早期な利活用計画が求められているところですが、丹沢湖周辺エリアの更なる観光再生に向けて次の点について質問いたします。 (1) 玄倉地区既存施設をアウトドア・アクティビティの拠点に 丹沢湖を訪れる登山・ハイキング・キャンプ・ランナーやサイクリストなどスポーツやアウトドアの観光客を対象にした駐車場の開放や施設整備の考えがあるか伺います。 (2) レンタサイクルの拡充を 丹沢湖記念館で実施しているレンタサイクルを既存のものだけではなく、スポーツタイプや電動アシスト自転車導入などの考えがあるか伺います。 (3) 県西地域として取り組む新しいスポーツイベントの開催を 町内の観光イベントにとらわれず、県西地域を交えた広域で開催できるトライアスロンやサイクルアンドライドなどの多目的イベントを丹沢湖がゴールとして開催する考えがあるか伺います。				

2. 三保地域における子育て支援の取り組みは

町では重点プロジェクトである「若者定住・子育て支援プロジェクト」を推進するため、本年4月に「第2次定住総合対策事業大綱」を掲げ、若者・子育て世代が住みたくなる、暮らし続けたくなる環境づくりに取り組むとしております。

しかし三保地域においては定住促進どころか、中学校が廃校し地域に子供たちの姿が少なくなり、よりよい子育て環境を求めて地域離れや町外流出をしていく若者・子育て世代が少なくありません。地域活性化の原点は若者の活躍であり、次世代を担う子供たちが地域で健やかに成長できる子育て支援、環境づくりについて次の点を質問します。

(1) 三保幼稚園、三保小学校を対象にした放課後児童クラブの開設は

現在開設している川村小学校を利用した放課後児童クラブの運用では、通勤エリア、交通手段の面において三保地域からの利用価値は低いため、地域の特性を生かし、幼稚園・小学校を一貫とした放課後児童クラブ開設の考えがあるか伺います。

以 上